

活動名 北広島町夢配達人プロジェクト推進事業 (植物写真集作成)	団体名	北広島町夢配達人プロジェクト実行委員会
	地域	広島県山県郡
	代表者	会長 小川 和夫
	支援金額	30万円
活動概要		
<p>児童達が雲月山の山焼きに参加、植物の観察学習、写真撮影を行った。 「全国草原サミット(全国子ども草原サミット)」において雲月山の山焼きと植物をテーマにした自作劇を発表。 撮影した写真を広島市内の会場で展示、写真集を完成させた。</p> <p>◆実施時期：平成21年4月～平成22年3月 雲月山：広島県山県郡北広島町土橋 雲月小学校：広島県山県郡北広島町南門原</p> <p>◆参加人数：21名</p>		



《雲月山の山焼き参加》



《植物観察会風景》



《全国草原サミット発表》



《知事訪問》

◆実施に伴う効果

1人の児童の夢の採択は、「写真集を作ることで雲月山の魅力をみんなに伝えたい」という全校児童17名の夢へと広がっていく。

学校で雲月山の植物の観察学習、植物の写真撮影の学習、植物への思いを表現する学習等に取り組むことで、雲月山の山焼きが植物にとって大切なこと、雲月山と植物が地域の宝であること、そしてそれらを守っていくのは自分たちであることを学んだ。

そしてその思いは保護者へも広がる。児童の写真撮影の援助をしたり自ら写真撮影をしたりと、写真集作りへの協力を得ることができ、写真集作りと同じ思いで取り組んだ「全国草原サミット(全国子ども草原サミット)」におけるオペレッタの発表の衣装は全て保護者の手作りであった。

地域では夢実現のため教育委員会・学校・保護者・地域住民で構成する「北広島町夢配達人プロジェクト実行委員会」を設置し、事業展開について協議を行いながら事業を進めていった。夢配達人の派遣、写真集作りの支援、雲月山の植物についての学習の手助け等に取り組んだ。

これらの活動を通して学校・家庭・地域が一体となって児童を育てるという意識が高まった。さらに写真集を地域に配ることで、地域の方々に地元にある雲月山の植物の素晴らしさを見直してもらい、それを守るための取組の大切さについて改めて考えてもらう機会になった。

また、写真集作成と併行して行ってきた「雲月山の植物写真展」によって、北広島町内はもちろん県内の方々にも「雲月山の植物の美しさ」と同時に、「自然環境を守ることの大切さ」についても発信することができた。

◆苦労した点

学校で本格的な写真集を作るということがほとんどないため、全体の構成をどのようにするかを決めるのが難しかった。植物観察の実践集で終わらないよう、実行委員や夢配達人にアイデアをもらいながら職員、子どもたちで何度も話し合い、ようやく写真集を作りあげることができた。

写真集づくりは、完成するまでは外部に見てもらえないため、PRする機会が少なかった。取組を知ってもらうため、撮り貯めた写真から子どもたちが好きな写真を選び拡大して広島市内の施設及び北広島町内の公民館等へ展示した。展示したことによって新聞やテレビ取材を受け、県知事表敬訪問まで発展した。

完成した写真集を校区の全戸や山県郡と安芸高田市の学校へ送り、地域のみなさんにも雲月山の植物の素晴らしさを広めたいと思ったが、予算的に厳しいものがあつた。マツダ財団からの資金援助をしていただいたおかげで、初期の目的を達成することができた。

◆今後の課題・発展の方向性

・写真集を校区や周辺の市町に送ったことやオペレッタを上演したことにより、雲月山の植物に対する関心が高まり、雲月山へ登る人が増えてきた。地域の活性化につながる反面、植物の盗掘等の心配もある。

・地域の宝である雲月山とその植物の写真集が完成したことで、もう一つの宝である「カワシンジュガイ」についての学習への児童の意欲が高まっていくものと考え。課題としては時間の確保である。3年生以上の総合的な学習の時間に子どもたちが、調べたい問題を設定し問題解決的に扱っていく予定である。

・全国子ども草原サミットで出会った学校の子どもたちに加えて、写真集を通して知り合った学校の子どもたちとの交流が可能である。

・交流を継続していくことで、本校で進めてきた「かかわり合い」の機会が増え、子どもたちの視野を広げることができる。

◆活動を終えての感想・意見等

・夢はもたなければかなわない。夢を持つからこそかなう。

・自分たちの写真集ができるなんて夢みたい。

・写真集は子どもたちにとって一生の宝物になる。

・地域にとっても写真集は今の雲月山の姿をずっと残す宝物になる。